

手術やブロックをせずに、脊柱管狭窄症、ヘルニア、すべり症、変形性股・膝関節症など 整形外科の痛み、しびれを根本から治療するAKA・博田法

医療法人社団
望クリニック整形外科

東京都

整形外科の痛み・しびれの治療は、今までの考え方では行き詰まっているのが現状だという。25年間にわたり、痛みやしびれの根本治療に取り組む望クリニック整形外科の住田憲是院長に、その診断・治療法「AKA・博田法」について話を聞いた。

レントゲンやMRIに写る「異常」のほとんどは痛みやしびれの原因ではない

なぜ、整形外科ではなかなか治らないのか？一番の問題はレントゲンやMRIに写る「異常」を痛みやしびれの原因と考えるためです。この「異常」とは、脊柱管の狭窄、椎間板ヘルニア、すべり症、軟骨のすり減りや関節の変形などのことです。あるTV番組で、「腰痛の原因はMRIに写るヘルニアではない」と説明され、大きな反響を呼びました。大学病院の医師が手術が必要と判断したほどヘルニアが出ているヘルニアを手術してもよくなるという方が多いためです。実はヘルニアだけでなく、狭窄、すべり症、膝や股関節の変形、軟骨のすり減りなどの「異常」も、同様に痛みやしびれの原因でないことがほとんどです。



すべり症で脊柱管狭窄症の75歳女性。他院では3回の手術がすすめられて来院。AKAをやる。その後は痛みが消失、手術は不要となった。この場合、MRIに写るヘルニアや狭窄は痛みやしびれの原因ではないため、手術をしても改善は見込めない。手術を受ける重要性を示す例だ。

本当の原因は関節機能障害

腰痛を例にすると、この番組では85%を占める原因不明のものはストレスで痛



変形性股関節症に対しAKAで治療後の写真。股関節の強い痛みでほとんど歩けず、手術も考えていた。赤に比べ、痛みのある黄色の方が関節の隙間が狭く、変形が進んでいる。AKAで治療後、痛みが軽減したため治療を継続。現在2カ月に1度のAKAでほとんど痛みなく日常生活を送っている。痛みの本当の原因はレントゲンに写る変形ではなく、関節機能障害であったと考えられる。このようにAKAにより手術をしないで済む例は多い

みを強く感じているためとされています。つまり大半が原因不明なのです。では、痛みやしびれの「本当の原因」は何か？その答えを導く治療法が、AKA・博田法(以下、AKA)という関節内部の微細な動きの異常(これを関節機能障害という)を治療する手技療法です。

高度な技術のAKAは熟練者に受診を

首、肩、手にいたるまで整形外科の痛みやしびれは病名やレントゲン、MRIに写る「異常」と関係なく、多くは関節機能障害が本当の原因であるため、AKAで治療すると痛みやしびれが改善し、手術が不要になることが多いのです。関節機能障害が原因の場合、手術による改善は期待できないといえるでしょう。

レントゲンやMRIに写る「異常」や、ストレスが原因といわれた方をAKAで関節機能障害を治療すると、「異常」やストレスを治さなくてもほとんどの痛みやしびれが改善します。

これにより関節機能障害が本当の原因と診断でき、AKAを続けることによりさらに改善が期待できるでしょう。

手術が不要になるケースが多い

当院には脊柱管狭窄症やヘルニア、すべり症、変形性股・膝関節症などの整形外科で手術をすすめられた患者さんが多数来院されます。腰下肢、股・膝関節、

AKAは関節を軽く押す程度で、治療に痛みは伴いません。一見簡単に見えますが非常に高度な技術で、習熟は困難を極めます。当院は25年間(1986年1月〜2011年12月実績)に初診で約3万症例の実績がありますが、未熟な技術では正確な診断ができず、かえって悪化することもあります。AKAは熟練者に受診するのがよいといえるでしょう。各疾患の詳細は当院のホームページをご参照ください。

医療法人社団 望クリニック整形外科
〒171-0032 東京都豊島区雑司が谷2-4-1
TEL.03-3986-7889
http://www.nozomi-clinic-japan.com
診療科目：整形外科、リウマチ科、リハビリテーション科
診療時間：8:30~12:30/14:30~17:30
休診日：日・月・木午後
※完全予約制
院長 住田憲是
東邦大学医学部客員講師 埼玉医科大学客員講師

※AKA・博田法は自由診療です。初診料11,025円、AKA療法は9,450円となっています